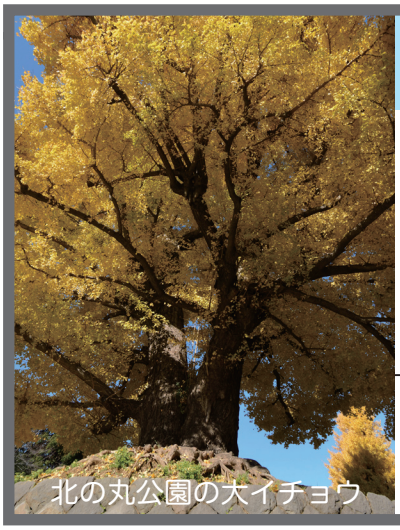
北の丸公園の大イチョウ

東京清掃労働組合退職者会機関紙

清友

No. 39
2012年11月

東京清掃労働組合退職者会
〒102-0072　千代田区飯田橋3－9－3　SKプラザ4F
TEL 03（3237）9995　　FAX 03（3237）4541

第3回幹事会

今年度後期活動計画、会計予算補正、上部団体親睦交流会経費の取扱い等を決定

10月5日に第3回幹事会を開催し、①会計予算補正、②上部団体等懇親交流経費の負担基準、③東京清掃賃金確定闘争激励の取組み、④後期活動計画などを決めました。

■会計予算補正

上部団体の会議や学習会参加に係る費用の支出用科目「参加費」が予算不足になっています。今年は上部団体の学習会への参加機会が従来より大幅に増えたためです。予備費を取り崩して参加費を増強することにしました。

■上部団体等親睦交流会の経費負担

都庁職員退職者連合会（都庁退）が毎年開催する親睦交流会（日帰り旅行）は、役員の交流的性格の行事です。参加者負担を少なくすることにしていましたが、財政的に負担が大きいので、他単会の例を踏まえ次のように見直すことにしました。

①会費の助成は2千円とする。
②旅費は支給しない。

なお、その他懇親交流行事の助成は、義務的参加を求められるものを除き、領収書が発行される行事に限定します。

■東京清掃確定闘争

賃金確定闘争は今年も10月～11月にかけて闘われます。

退職者会は「現・退」一致の立場から、今年も東京清掃の賃金確定闘争を応援するため、第1波と第3波の総決起集会に参加し、激励することにします。

■後期活動計画

今年度も半分過ぎました。来年4月の定期総会までの主な行事を別記のように確認しました。開催日等が決まり次第お知らせします。是非参加ください。

2012年度後期活動計画

	主な行事	主な会議
11月	親睦旅行（11月6日～8日）	第4回幹事会（11月22日）
		第2回企画部会（11月22日）
1月	新春の集い（1月19日か26日）	
2月	落語鑑賞会（2月中・下旬）	第5回幹事会
3月	お花見ウォーク（3月末か4月初め）	第6回幹事会
4月		第6回定期総会

＊上記以外にも三役会、部会は必要に応じて開催。

看護職員離職防止・労働条件改善要求署名のご協力ありがとうございました

自治体退職者会の指示により6月に行った「看護職員離職防止・労働条件改善要求署名」は、37名41枚177筆の協力をいただきました。会員の協力率は都本部内でもトップ級です。感謝申し上げます。

秋期学習交流会

10月5日、東京清掃の今を把握し、東京清掃の応援団としての退職者会にできることはないか考える場として、「東京清掃の当面する課題」のテーマで秋期学習交流会を開催しました。講師は東京清掃染書記長、20名が参加しました。終了後は恒例のお楽しみ懇親会。

東京清掃・染書記長

東京清掃の組合員はかつて1万5千人でしたが、現在は4千人、再任用組合員が5百人です。組合員減少の大きな原因は、総務省指導による退職不補充を大多数の区が採っていることです。各区の最近の新規採用状況で実態がわかります。

人員抑制の手段として「車付雇上」が悪用されています。「車付雇上」とは、作業員付きの雇上車で、機動班等の臨時車に使われてきた形態です。それが本体作業に食い込んでおり、雇上契約の15％が車付です。

清掃事業の委託状況

	全部委託	一部委託	直　営
可燃ごみ収集		１４区	９区
不燃ごみ収集	３区	１１区	９区
粗大ごみ収集	２１区	２区	
資源回収	２３区		

各特別区の平成20～24年採用状況

採用区	H20	H21	H22	H23	H24	合計
千代田	1	1	1		2	5
新　宿		5		4		9
文　京					3	3
江　東		5				5
品　川			6			6
目　黒				2		2
世田谷				6	3	9
板　橋	10					10
葛　飾	5		4			9
合　計	16	11	11	12	8	58

雇上は請負契約ですから、労働者に直接作業指示を行えば違法（偽装請負）ですが、現実は偽装請負であり、労働者は低賃金の官製ワーキングプアという最悪の構造です。これにより委託化がどんどん進行しています。

東京清掃の課題は、偽装請負である車付雇上を断ち、各区で新規採用を実施させ、公共サービスの質を維持することにあります。

問題点を当局側に指摘し、取組みを強めているとの報告がありましたが、悩みを抱えながらという印象でした。

現役世代の闘いが実りあるものとなるよう、切に願うところです。

学習会の後は楽しく懇親会

東京清掃賃金確定第1波決起集会

10/12

10月10日、特別区人事委員会は、月例給△783円（△0・19％）、一時金は改定なし（年間3・95月）を勧告しました。

今年の賃金確定闘争は、①現業賃金の水準確保、②国の給与臨時削減の地方適用阻止、③国の退職手当削減の影響排除、④高齢期雇用（無年金期間の対応）などが課題です。

東京清掃の賃金確定闘争第一波総決起集会が10月12日、連合会館（旧総評会館）で開催され、庄司事務局長と戸枝会計が参加し、激励しました。

集会で激励する庄司事務局長

年金・介護・雇用・税制・脱原発等
地公退統一要求に政府が回答

地方公務員退職者協議会（地公退）は、定期総会で決定した「統一要求」を、9月11日に政府（総務省）へ提出しました。例年、回答は年明けでしたが、今年は総選挙を考慮したのかどうか、9月25日に回答が示されました。

年金

(1)被用者年金一元化が国会で成立したが、一元化後の厚生年金事業も、効率的な事務処理を行うため、共済組合等を活用する。

(2)恩給期間の給付は負担に見合う水準に減額するが、①10％を減額上限、②230万円以下の給付は減額なしの配慮措置を講じる。

(3)共済年金の職域部分を廃止し、新たな公務員年金を設ける。新制度は、有識者会議の報告を踏まえ、制度設計を行っている。

(4)今後の社会保障制度は、機能充実と給付の重点化・制度運営効率化を同時に行い、負担の増大を抑制しつつ、持続可能な制度の実現を基本とし、社会保障制度改革国民会議の設置等により、総合的、集中的に推進する。

(5)被用者年金一元化法により公務員も厚生年金に加入することになり、地方自治体勤務の常勤職員も非常勤職員も、厚生年金に加入することになった。

(6)厚生年金への加入要件である一週間の所定労働時間を週30時間以上から週20時間以上に緩和するなど短時間労働者に対する厚生年金の適用拡大を行った。

(7)マクロ経済スライドは、将来の現役世代の過重な負担を回避する観点から、マクロでみた給付と負担の変動に応じて負担の範囲内で給付水準を自動的に調整する仕組みだが、現在の年金額は、本来より2.5％高い水準で支給されており、特例水準の解消を前提とするマクロ経済スライドは適用されていない。世代間公平の観点から、特例水準の年金額を計画的に引き下げ、マクロ経済スライドのデフレ経済下の適用の適否を検討する。

(8)国連の責任投資原則（PRI）の趣旨を踏まえ、共済組合の社会的責任投資等活用を進める。

地方公務員の雇用と年金

国家公務員の雇用と年金の接続は、「定年退職職員がフルタイム再任用を希望する場合、常勤官職に採用する」基本方針を決定した。

地方公務員の雇用と年金の接続について、「高年齢者雇用確保措置実施済企業の82・6％が継続雇用制度により対応している現状や、国家公務員の基本方針等を踏まえ、定年退職職員が再任用を希望する場合、再任用職員として採用する」ことを地方自治体関係者に示した。

介護基盤整備

(1)介護基盤は、平成21～23年度の3年間で合計16万床分を目標に整備を行ってきた。平成24年度開始の第5期事業計画に基づく新施設整備を考慮し、引き続き、整備を行う。

(2)東日本大震災により被害を受けた介護基盤の災害復旧は、平成25年度予算でも要求する。

税制

市町村の徴収効率化と、公的年金受給者の便宜を図るため、個人住民税の公的年金からの特別徴収を導入した。対象は、65歳以上の2割強。夫の年金収入が200万円程度の標準的世帯は基本的に税負担は生じない。

エネルギー政策と原子力発電見直し

今後のエネルギー政策は、「革新的エネルギー・環境戦略」の結論を踏まえ、関係自治体等と責任ある議論を行い、国民の理解を得ながら、検証・見直しを行う。ご要請の点も含め、政府部内で情報の共有を図る。

マイナンバー

マイナンバーの利用範囲を法令で限定し、十分な個人情報保護措置を講じる。

東京清掃第81回定期大会

東京清掃の第81回定期大会が、9月30日にベルサール飯田橋ファーストで開催され、来賓として北條会長、庄司事務局長、取材で戸枝会計が参加しました。

吉田委員長は冒頭の挨拶で、脱原発運動の強化、オスプレイ配備阻止、年金支給年齢引上げに伴う高齢期雇用の確保、車付雇上等委託化の阻止と新規採用の獲得、清掃事業の統一交渉確保など、東京清掃の課題を列挙し、闘いへの結集を訴えました。

北條会長が連帯の挨拶

退職者会を代表し北條会長は、「東京清掃が清掃差別問題と闘っていることに敬意を表したい。管理職が2日や3日の現場経験で清掃のきつさを分かったような顔をすることは許せない。我々は仕事に誇りをもって闘ってきた。退職者会は東京清掃の一つの支部的存在であるとの思いで闘っている。本部から多大な支援をいただいており、何らかのお手伝いをしていきたい。」とエールを送りました。

経過と方針の討議に延べ9名が参加、①車付雇上対策、②事業執行統一交渉事項、③組織財政整備方針、④清掃工場技術係業務の全面委託攻撃、⑤中防の放射性物質問題、⑥現業賃金改悪後の新規採用賃金改善等について議論が行われました。それぞれ職場の喫緊の課題であり、取組みの強化が必要だと思います。

10・28団結まつり

10月28日、亀戸中央公園で「ゆるすな再稼働 なくそう原発！ 止めよう雇用破壊！ つくろう戦争と貧困のない社会を！」をテーマに「団結まつり」が開かれました。

時折小雨の降るあいにくの天候の中、昨年より規模は縮小したものの、各団体のブースの販売も好調でした。

メイン会場では、JALや各地の解雇争議、脱原発やオスプレイ配備阻止の闘い等が訴えられ、連帯の輪が広がりました。東京清掃は、今年も本部・各地連が出店し、まつりの盛り上げに貢献しました。

横一列に東京清掃のブース

農協も脱原発方針決定

日比谷野外音楽堂で「10・13さようなら原発集会in日比谷」が開催され、退職者会も4名自主参加しました。

集会では、「3・11がまるでなかったかのように再稼働の動きが強まっている」と、事故の風化と原発推進派の巻き返しの動きに強い危惧が表明されました。

一方、JA（農協）が定期大会で脱原発の運動方針を採択したことが報告される等、脱原発運動の裾野が一層広がっていることを確認できました。退職者会もあきらめずに、脱原発の運動に寄与していきたいと考えています。